

SECTION

18

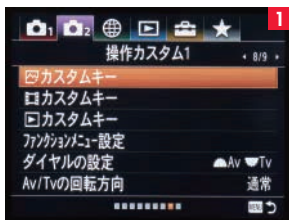
瞳AFを設定する

KEYWORD ▶瞳AF ▶フォーカスホールドボタン

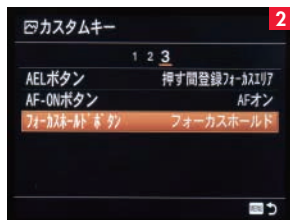
1 瞳AFをボタンに割り当てる

ポートレートやスポーツ撮影で顔が一定以上の大きさで写る場合は、**瞳AFでのピント合わせが有効だ**。瞳AFは初期設定ではコントロールホイールの中央ボタンに割り当てられているが、レンズのフォーカスホールドボタンやAF-ONボタン、AELボタンなど、**自分の使いやすいボタンに割り当て**ることもできる。その中でもレンズの**フォーカスホールドボタン**に瞳AFを割り当てると、**レリーズ操作は右手でピント合わせは左手と**、作業を振り分けられるのでおすすめだ。

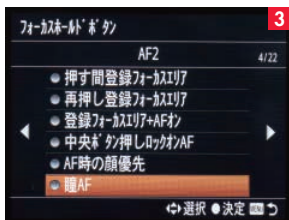
[ 設定方法 ]



カメラ2(撮影設定2)から[カスタムキー]を選ぶ。



フォーカスホールドボタンを選ぶ。



[瞳AF]に設定する。



レンズのフォーカスホールドボタンを押すと、瞳AFが動く。

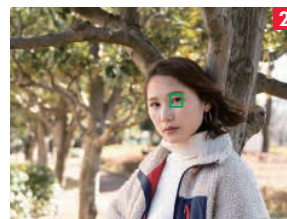
2 シャッターボタン半押しで瞳AFを使う

a7 IIIでは、シャッターボタンを半押しした際、**瞳AFが同時に動作するように設定**させている。動作には条件があり、カメラ1(撮影設定1)→[AF時の顔/瞳優先]設定→[入]になっていることである。顔に向けて半押しした際、**小さな緑色の枠**が近い側の瞳の上に表示されたら成功だ。Ver.3.00からは、**どのフォーカスモードにも対応**しているの、AF-Cで使えば動きのある被写体にも瞬時にピントを合わせることができる。

[ 設定方法 ]



瞳AFの設定を行い、構図や露出を決めたらシャッターボタンを半押しする。



瞳に小さな緑色の枠が表示される。あとはシャッターボタンを全押しすれば撮影完了だ。



瞳AFは確度の高いピント合わせなので、ポートレート撮影では積極的に活用しよう。

# SECTION 19

## 瞳AFの基本的な 撮影方法を知る

KEYWORD ▶瞳AF ▶AF-C

### 1 動きながらの撮影で瞳AFが活躍する

a7 IIIの瞳AFが真価を発揮するのは、**動きのある人物を撮影するとき**である。人物が動いていようと、また少々暗いところであろうと、**カメラが人間の顔と目を認識できる状態にある限り**、瞳AFはがっちりと**瞳にピントを合わせ続ける**。



顔が写っている状況であれば、a7 IIIは瞳を検出してきちんとピントを合わせてくれる可能性が高い。髪で目が隠れている場合は瞳AFが動作しにくいので注意しよう。

### 2 暗所での撮影でも瞳AFが効果的

瞳AFは**暗所にも強い**のが特徴である。例えばフォーカスエリアのフレキシブルスポットではどこにピントを合わせてよいのかカメラが迷ってしまい、どこにもピントが合わないような暗さであっても、**瞳AFであればきちんと検出し**、ピントを合わせてくれる場合が多々ある。これは一眼レフに対して大きなアドバンテージである。

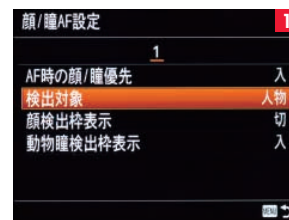


陽が落ちた夜18時頃に撮影したが、このくらいの暗さでも瞳AFはしっかり効いた。夜景ポートレートでのピント合わせは瞳AFが有効だ。

### 3 動物対応瞳AFを使う

犬や猫などの瞳にもシャッターボタンを半押しするだけで**自動的にピント**が合うので、好きなタイミングでシャッターを切ることができる。**AF-C**に設定することで、動きの激しい動物にも対応。また、広い範囲から見つけるなら**ワイド**、範囲を限定したいなら**フレキシブルスポット**などのフォーカスエリアに設定しておく、さらにピント合わせが楽になる。ただし、動物対応にすると**ロックオンAF**が使えなくなるので注意しよう。

#### [ 設定方法 ]



📷1(撮影設定1)から[顔/瞳AF設定]を選択し、[検出対象]を選択する。



[検出対象]から[動物]を選択し、中央ボタンを押す。